

平成30年度 地理歴史科「世界史A」SYLLABUS

| | | | |
|-----|-------------------|----------|--------------------------|
| 単位数 | 2単位 | 学科・学年・学級 | 普通科 第2学年 特別進学・進学クラス理系コース |
| 教科書 | 要説 世界史 (山川出版社) | 副教材等 | ニュービジュアル 新詳 世界史図説 (浜島書店) |

1. 学習の到達目標

| |
|---|
| ①近代以前の諸地域世界の特徴と相互の交流を概略的に把握させる |
| ②近現代史を中心に、地球世界としての現代世界における人類の課題を追究させ、具体的かつ多角的に考察させる |
| ③日本と世界とのつながりに着目させ、国際社会に生きる日本人としての主体的な態度を養う |

2. 学習の計画

| 学期 | 月 | 単元名 | 学習事項 | 学習内容や活用 | 評価の材料等 |
|-------------------|-------------------------|---|---|---|---|
| 前 期 | 4 | 序章 古代文明の形成 | 古代文明の形成 | ・ 気候や地形など自然環境と歴史・文明の関係を考える。 ・ 人類の進化と文明の形成を理解する。 | 授業態度 発問評価 |
| | 5 | 第1章 諸地域世界の形成と交流 | 1. 東アジア世界・内陸アジア世界 | ・ 東アジア世界の特徴と周辺地域との関連を理解する。 ・ 内陸アジア世界の動向と中国への影響を理解する。 | ・ 授業態度 ・ 発問評価 ・ 提出課題 ・ 小テスト ・ グループ学習 ・ ノート提出 ・ 定期考査 |
| | | | 世界と日本① 東アジア世界と日本 | ・ 日本と中国・朝鮮との交流をまとめる。 ・ 交流による文化・政治への影響を理解する。 | |
| | | | 2. 南アジア世界・東南アジア世界 | ・ 南アジア世界の特徴を宗教の変遷から理解する。 ・ 東南アジア世界の文化の多様性を理解する。 | |
| | | | 3. 西アジア世界 | ・ 西アジア世界の特徴を宗教面から理解する。 ・ 古代オリエント文明の特色を理解する。 | |
| | | | 4. ヨーロッパ世界 | ・ イスラーム世界の変遷を概略的に理解する。 ・ 古代地中海世界の文明を理解する。 | |
| | 5. 諸文明を結ぶネットワーク | ・ ヨーロッパ世界の形成・発展・変化の歴史を理解する。 ・ ユーラシアの交流圏を陸・海双方から理解する。 ・ アフリカ、地中海、東南アジアの交流圏を理解する。 | | | |
| | 6 | 第2章 結びつく世界 | 1. アジアの諸帝国 | ・ 明清時代の中国と周辺地域の動向を理解する。 ・ ティムール・オスマン・ムガルなどイスラーム専制王朝の特色を理解する。 | ・ 授業態度 ・ 発問評価 ・ 提出課題 ・ 小テスト ・ グループ学習 ・ ノート提出 ・ 定期考査 |
| | 7 | 2. 近世ヨーロッパの形成と発展 | ・ ヨーロッパ世界の拡大と社会の変化を理解する。 ・ 16～18世紀の主権国家の形成を理解する。 ・ 世界商業の展開を理解する。 | | |
| 世界と日本② 世界商業の展開と日本 | | ・ 世界商業の展開と日本の関係をまとめる。 ・ 16世紀からの交流が日本に与えた影響を理解する。 | | | |
| 9 | 第3章 ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 | 1. 革命の時代の到来 2. 自由主義と国民主義の進展 | ・ 産業革命の背景・展開・影響について理解する。 ・ アメリカ独立革命の動向と意義を理解する。 ・ フランス革命とナポレオン時代を理解する。 ・ 19世紀前半のヨーロッパ市民社会の成立を理解する。 ・ 19世紀後半のヨーロッパ諸国の再編を理解する。 ・ 南北アメリカの動向を理解する。 ・ 19世紀の欧米文化の特色を理解する。 | ・ 授業態度 ・ 発問評価 ・ 提出課題 ・ 小テスト ・ グループ学習 ・ ノート提出 ・ 定期考査 | |
| 後 期 | 10 | 第4章 アジア諸国の変貌 | 1. オスマン帝国の動揺と民族の自覚 2. 南アジア・東南アジアの植民地化 3. 東アジアの変容と日本の動向 | ・ オスマン帝国の衰退と国内改革を理解する。 ・ 西アジア・中央アジアへの列強の進出を理解する。 ・ イギリスによる南アジアの植民地化を理解する。 ・ 東南アジアの植民地化の進行を理解する。 ・ 中国の開国と列強の進出による影響を理解する。 ・ 日本の開国と朝鮮・中国への進出を理解する。 | ・ 授業態度 ・ 発問評価 ・ 提出課題 ・ 小テスト ・ グループ学習 ・ ノート提出 ・ 定期考査 |
| | 世界と日本③ 19世紀の世界の一体化と日本 | ・ 一体化が進む世界に日本が関わったことを把握する。 ・ 世界との関わりによる日本への影響を理解する。 | | | |
| 11 | 第5章 世界戦争と平和 | 1. 帝国主義の成立と列強の情勢 2. 世界分割とアジア・アフリカ 3. 二つの世界大戦とその影響 | ・ 帝国主義時代の社会的特色を理解する。 ・ 欧米列強の国内情勢を理解する。 ・ 欧米列強による世界分割の展開を理解する。 ・ 近代のアジア諸地域の民族運動を理解する。 ・ 第一次世界大戦と大戦後の欧米社会の動向、アジアの民族運動を理解する。 ・ 第二次世界大戦の背景と動向を理解する。 | ・ 授業態度 ・ 発問評価 ・ 提出課題 ・ 小テスト ・ グループ学習 ・ ノート提出 ・ 定期考査 | |

| 学期 | 月 | 単元名 | 学習事項 | 学習内容や活用 | 評価の材料等 |
|--------|----|----------------|--|---|--|
| 後 期 | 12 | 第6章 三つの世界の形成 | 1. 冷戦期の世界と日本 2. アジア・アフリカ・ラテンアメリカの自立と課題 3. 米ソ両大国の動揺 | ・冷戦時代の東西対立の状況を理解する。 ・ヨーロッパと日本の復興・発展を理解する。 ・冷戦期のアジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国の動向を理解する。 ・「三つの世界」が形成されたいきさつを理解する。 ・核開発と平和共存について考える。 ・米ソ両国の威信・指導力が低下したことを理解する。 | ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・ノート提出 ・定期考査 |
| | 1 | 第7章 グローバル化する世界 | 1. 大国の動揺と国際経済の危機 2. 社会主義の後退と冷戦の終結 3. グローバル化と多極化 4. 地球社会への歩み | ・世界経済が構造的に変容したことを把握する。 ・産業の構造が転換され、地域間の相互依存が強まったことを理解する。 ・ソ連の改革と冷戦の終結を把握する。 ・東欧諸国が自由化されソ連も解体したことを理解する。 ・20世紀末からの欧米・アフリカ諸国の動向を理解する。 ・20世紀末からのアジア諸地域の動向を理解する。 ・現代の国際社会の課題を考える。 ・科学技術の発展や環境問題を地球規模で考える。 | ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・ノート提出 ・定期考査 |
| | 3 | 主題学習 | これからの世界に生きるために | ・21世紀の人類の課題について自ら主題を設定し、調べ、考察し、意見を発表する | 授業態度 発表 討議課題の提出 |

3. 評価の観点

| | |
|----------|---|
| 関心・意欲・態度 | 世界の歴史と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究し、通史的流れを総合的に考え民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付ける。 |
| 思考・判断・表現 | 歴史事象の本質や人間としての在り方について広い視野に立って考察するとともに、歴史の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現する。 |
| 資料活用の技能 | 歴史の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。 |
| 知識・理解 | 世界の歴史の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。 |

4. 評価法

| |
|---|
| 日々の授業態度や授業に対する発問評価で関心・意欲・態度を評価を行う。提出課題やノート提出で思考・判断・表現の評価を行う。グループ学習で資料活用の技能を評価する。小テストや定期考査で知識・理解を評価する。 |
|---|

5. 担当者からのメッセージ

| |
|--|
| インターネットや新聞・ニュースなどのマス・メディアなどを活用して、わかりやすい事例を提示できるように心がけたい。 |
|--|